

今年の活動振り返る

清掃やエコボトル販売

海の環境保全に取り進んできた「SOSプの清掃やエコボトルの組むNPO法人「UNプロジェクト」の活動報告会を築港の産業振

会」は22日、今年、推興ビルで開催。宇野港



「SOSプロジェクト」の活動を振り返る高校生ら

動に参加した玉野高、玉野商工高の生徒ら約20人が出席。これまでの主要な活動だったマルシェ（市場）イベントを今年は開くことができなかったため、月1回、宇野港の清掃などに取り組んだ。

4～6月は宇野港を清掃し、7月は直島町の清掃に参加した。出席者からは、宇野港では「生け垣など見えな

いところにごみがたくさん捨てられていた」、直島町では「島民全体で清掃に参加していることに驚いた」といった報告があり、今後も

清掃を継続することを確認した。10月に参加した直島環境フェスタ（直島町）では、実行委で作ったエコバッグ、エコボトルに加え、玉野商工高生徒が考えた携帯用ごみ箱を販売したことを

紹介。売り上げの一部を自然環境保護団体へ寄付する予定だと説明した。実行委メンバーでOSプロジェクトの立ち上げに携わった玉野高3年坂口真央さんに話した。

（18）と同武部友香さん（18）は、「月1回の清掃が市民ぐるみの活動になるように広めた。これからも市内の高校生が海洋環境問題に取り組めるよう、卒業してもプロジェクトに関わる」と話した。

（内田貴大）